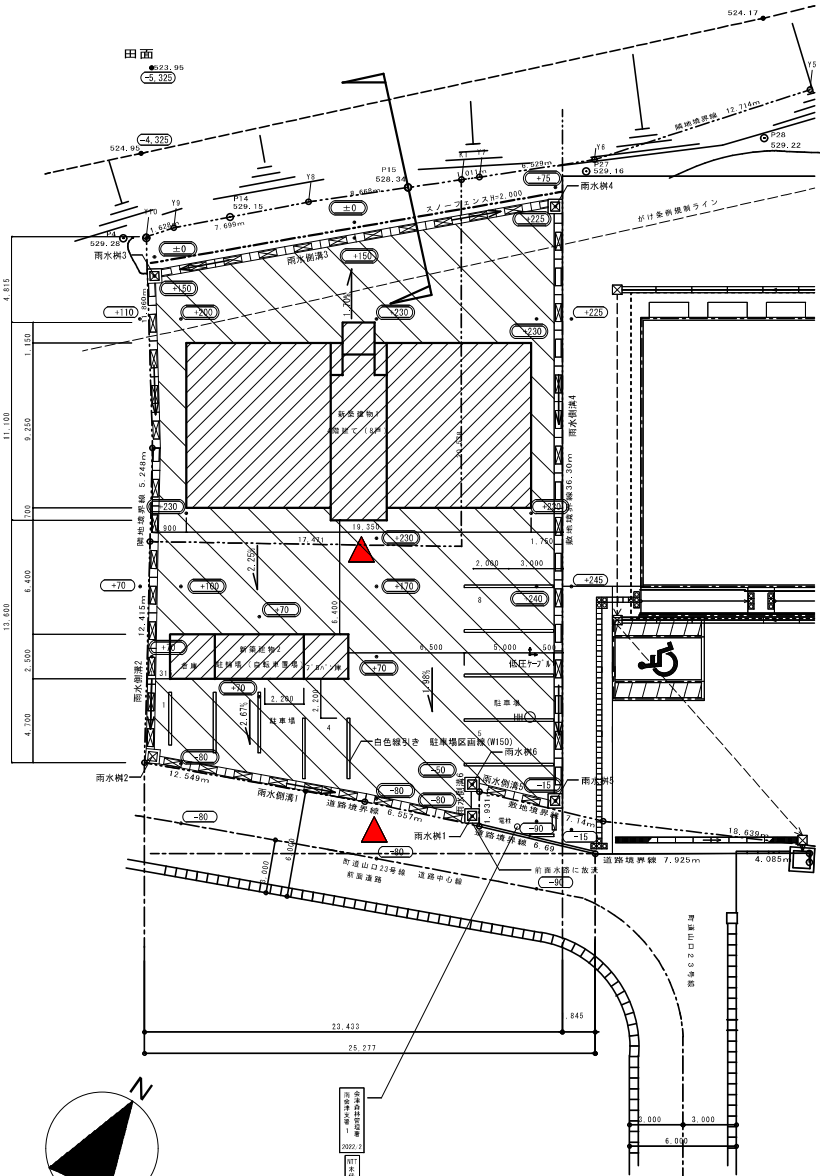
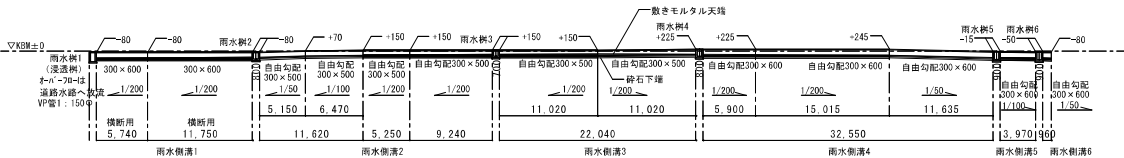




外構配置図 S=1/150

- △記号
- : 新築建物を示す。
 - : アスファルト舗装を示す。
 - : 出入口を示す。
 - : 敷地高低差を示す。
 - : 側溝を示す。(グレーンゲ量: 41ヶ所)
 - : 側溝を示す。(コンクリート量: 14ヶ所)



排水工事リスト

種類	種別	横断用側溝	自由勾配側溝	
		呼び名 (a × c)		
		300 × 600	300 × 500	300 × 600
雨水側溝1	横断用側溝	5.740		
		11.750		
雨水側溝2	自由勾配側溝		5.150	
			6.470	
			5.250	
			9.240	
雨水側溝3	自由勾配側溝		11.020	
			11.020	
雨水側溝4	自由勾配側溝			5.900
				15.015
				11.635
雨水側溝5	自由勾配側溝			3.970
雨水側溝6	自由勾配側溝			0.960
合 計 (m)		17.49	48.15	37.48

排水工事リスト

種類	規格	グレートゲ仕様	樹種
雨水樹1	□500 H1100	T-25	普通目
雨水樹2	□500 H800	T-25	普通目
雨水樹3	□500 H700	T-25	普通目
雨水樹4	□500 H800	T-25	普通目
雨水樹5	□500 H900	T-25	普通目
雨水樹6	□500 H900	T-25	普通目

種類	規格	L (m)	備考
VP管1	150Φ	1.00	

境界ブロック

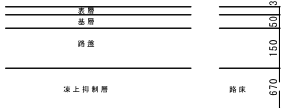
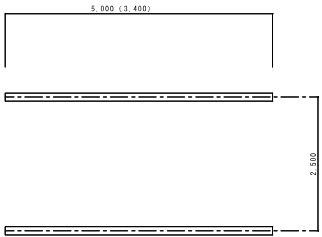
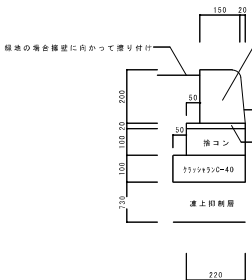
S=1/10

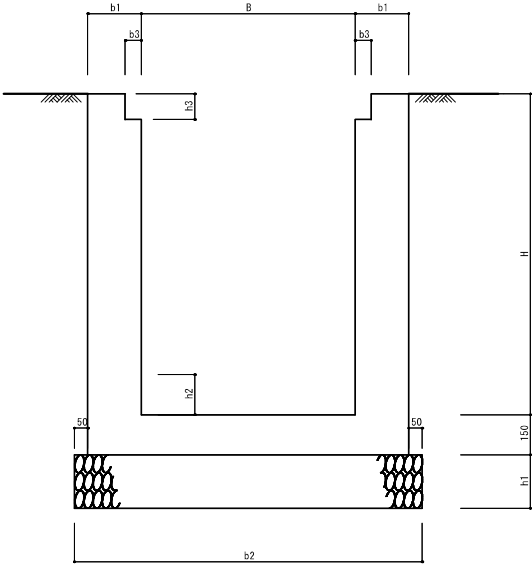
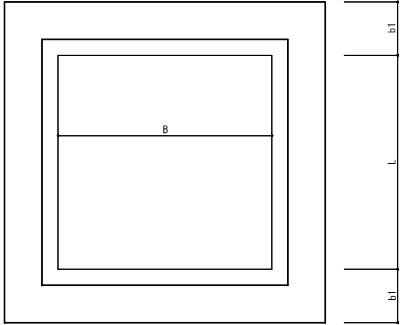
白色線引き 駐車場区画線 (W150)

S=1/50

アスファルト舗装断面図

S=1/10





設計条件

コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

集水樹寸法表

記 号	寸 法 表 (単位mm)							蓋部切欠き寸法（グレーチング、参考寸法）								換 要
								並目 (T-25)		細目 (T-25)		細目 (T-14)		並目 (T-2)		
	B	L	H	b1	b2	h1	h2	b3	h3	b3	h3	b3	h3	b3	h3	
□500 H500	500	500	500	150	900	150	150以上	65	71	60	66	60	56	60	44	
□500 H600	500	500	600	150	900	150	150以上	60	71	60	66	60	56	60	44	
□500 H700	500	500	700	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	
□500 H800	500	500	800	150	900	150	150以上	68	71	60	56	60	50	60	38	ステップ 付き
□500 H900	500	500	900	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き
□500 H1000	500	500	1000	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き
□500 H1100	500	500	1100	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き
□500 H1200	500	500	1200	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き
□500 H1300	500	500	1300	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き
□500 H1400	500	500	1400	150	900	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き
□1000 H1200	1000	1000	1200	150	1500	150	150以上	65	71	60	56	60	44	60	38	ステップ 付き

透透樹 □500 H1000

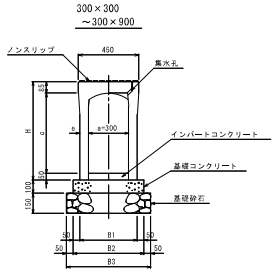
蓋：マンホールT-14

自由勾配側溝構造詳細図

S=1/20

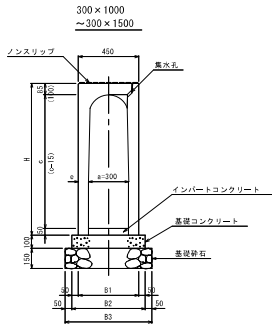
自由勾配側溝構造詳細図 (横断用)

S=1/10

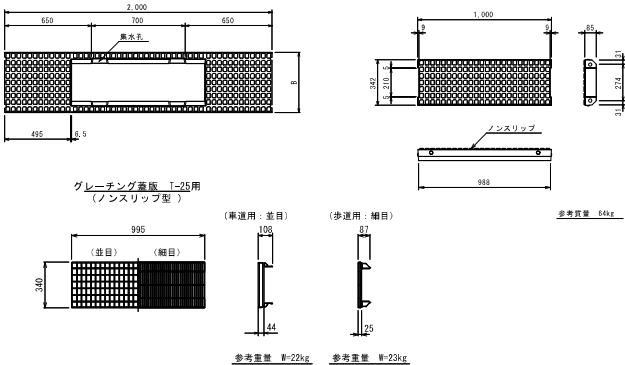


材料表

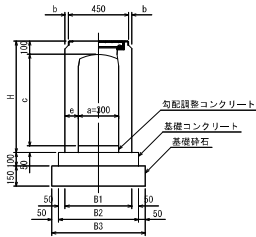
呼び名 (a×c)	参考重量 (kg)	寸 法					製品本数	100'→ 2.99m	基礎2.99m	基礎砕石	基礎砕石						
		H	a	B1	B2	B3											
300 × 300	306	435	50	400	500	600	5.0	0.150	0.500	2.0	0.900						
× 400	314	525	55	410	510	610						0.510	0.915				
× 500	426	635												65	430	530	630
× 600	530	735							75		450						
× 700	590	835	85	470	570	670						0.570	1.005				
× 800	725	935												95	490	590	690
× 900	795	1,035							105		510						
× 1,000	912	1,135	115	530	630	730						0.630	1.095				
× 1,100	985	1,235												125	550	650	750
× 1,200	1,060	1,335							135		570						
× 1,300	1,140	1,435	145	590	690	790						0.690	1.185				
× 1,400	1,280	1,535												155	610	710	810
× 1,500	1,350	1,635					165	630	730	830	0.730						



※ () 内は、呼び名300×1300~1500での数値

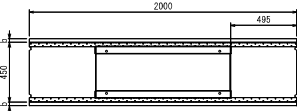


※歩道用(細目)は、重量低減型エコタイプ

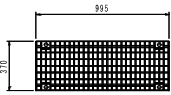


材料表

呼び名 (a×c)	参考重量 (kg)	寸 法 (mm)							製品本数	勾配調整 コンクリート量	基礎 コンクリート量	基礎砕石	基礎砕石重量			
		H	b	c	e	B1	B2	B3								
300 × 300	412	435	10	285	85	470	570	670	5.0	0.150	0.570	2.0	1.005			
× 400	492	535		385												
× 500	570	635		485												
× 600	650	735		585												
× 700	840	835		685												
× 800	935	935	25	785	100	500	600	700			0.600		1.050			
× 900	1,030	1,035		885												
× 1,000	1,120	1,135		985												
× 1,100	1,210	1,235		1,085												

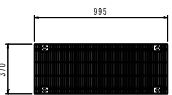


グレーチング蓋板 300型 T-25用
(ボルト固定式並目)



参考質量 29kg

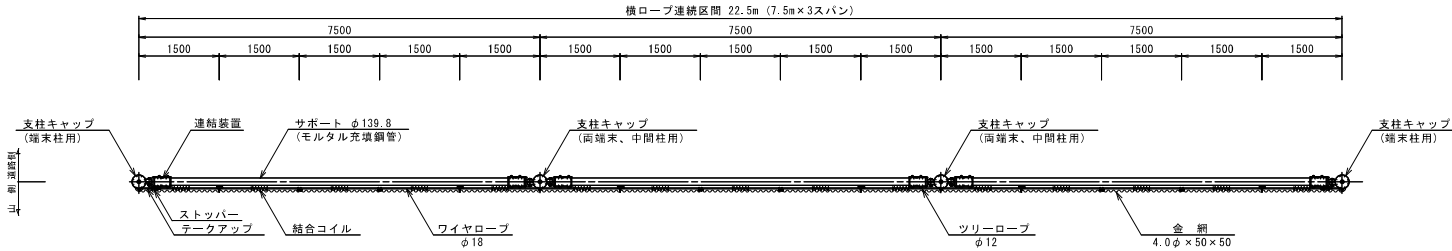
グレーチング蓋板 300型 T-25用
(ボルト固定式細目)



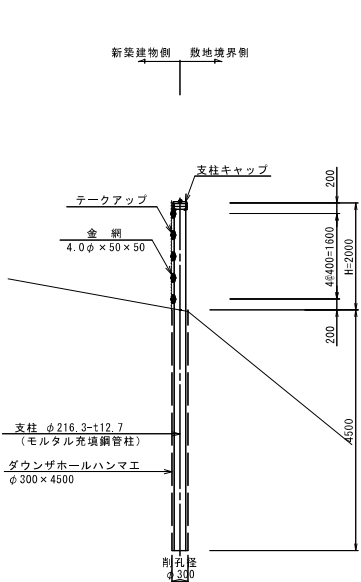
参考質量 42kg

スノーフェンス (HSF工法同等品) 一般構造図 S=1/50
〔 柵高 : H=2.0m, 根入れ長 : 4.5m 〕

平面図

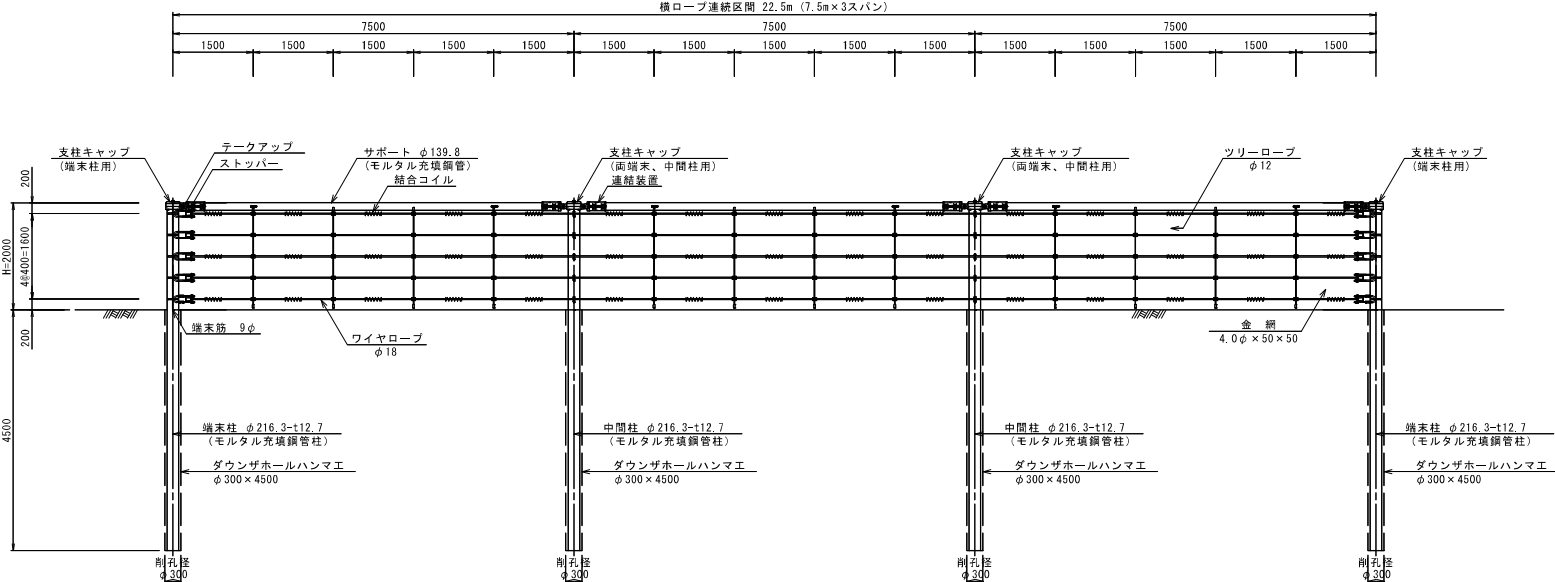


断面図



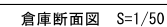
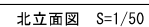
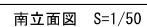
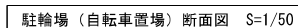
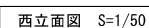
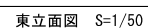
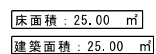
正面図

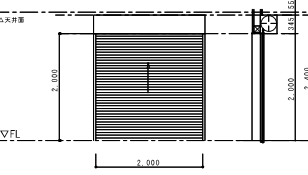
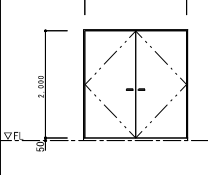
(新築建物側より)



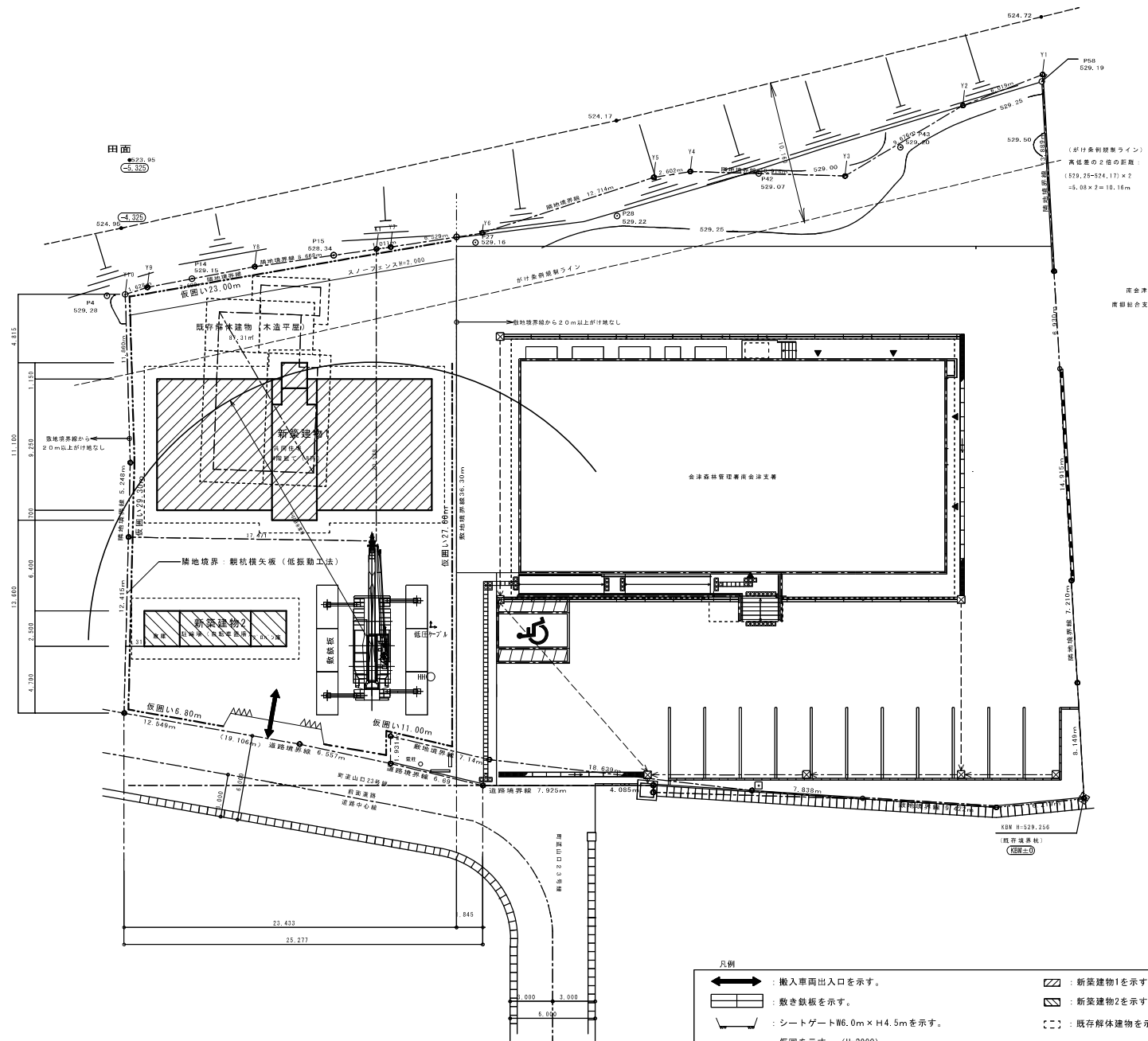
- ※ 1. 支柱設置位置については、現地調査実施時に確認し、必要に応じて調整を行うものとする。
※ 2. 支柱間隔は、地形状況に応じて斜長で管理する必要がある。
※ 3. ダウンザホールハンマエにおいて、削孔後の孔壁崩壊及び湧水が発生する可能性があるものと判断された場合は、ケーシング(孔壁保護管)が必要となる。

特 記	原案書月日	作成書月日	訂正書月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理建築士 一般建築士登録 275483	監 理	設計NO.	名 称	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤		棟尺 A1 : S=1/50 A3 : S=1/100	会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事 部分詳細図 3 (外構図)	G-03



記 号	 軽量シャッター (手動式 6インチ露出納まり 内巻)	 両開きドア
要 図		
場所・数量	倉庫 1 か所	7 0m ² 倉庫 1ヶ所
積 子	765型13台	滑車連動付付鋼板1.6 (両面) 焼付塗装 特共
材 料	アルミレール、鋼製シャッターボックス、シャッター板、	
金 物	手動内巻用、鋼製三方付、付属金物一式	6m ² 用10、取手筋、DC、75mm用とし、付属金物一式
仕 上 界 込	税引込：165	210
備 考		仕様 ステンレス鋼板1.5

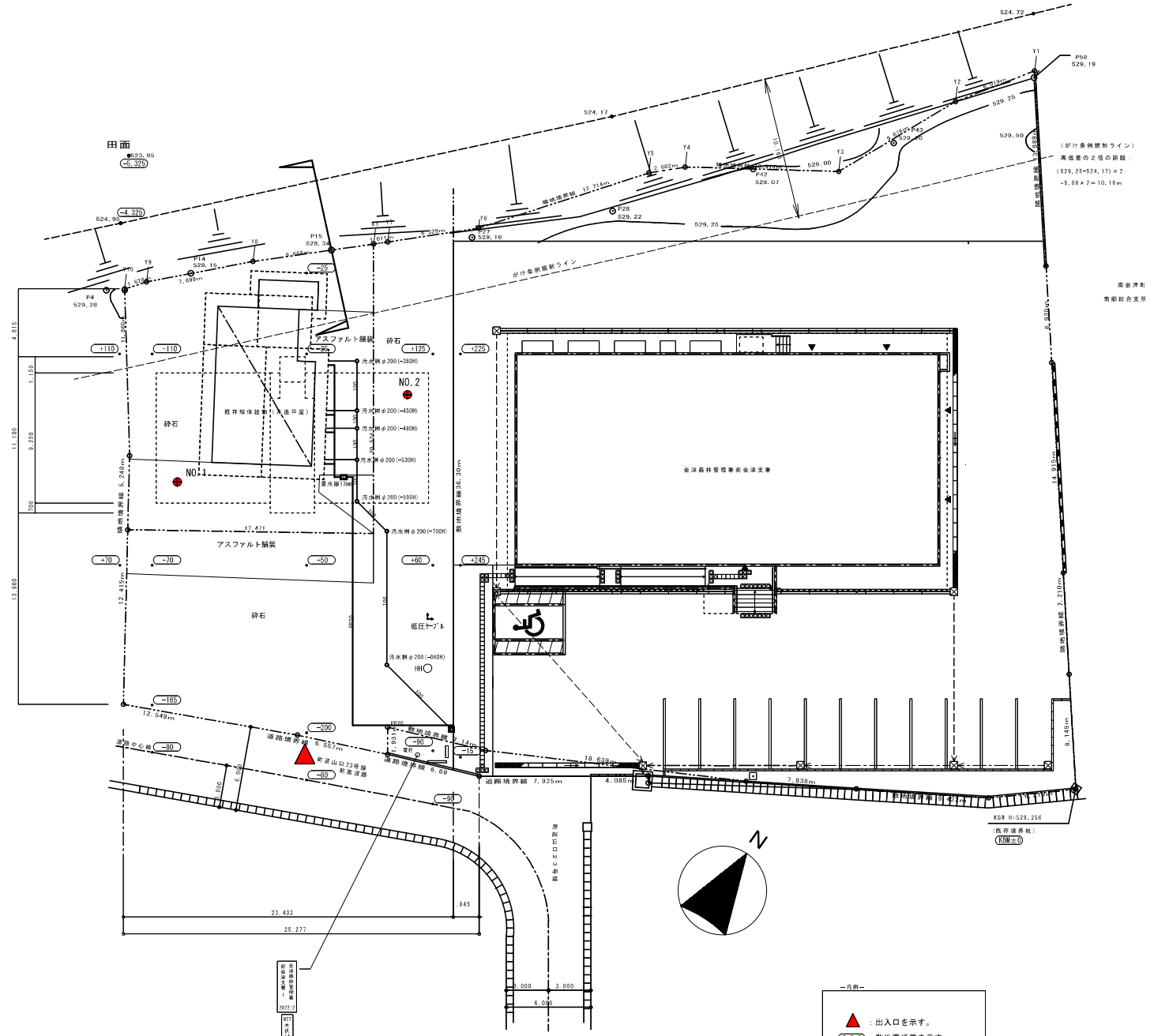
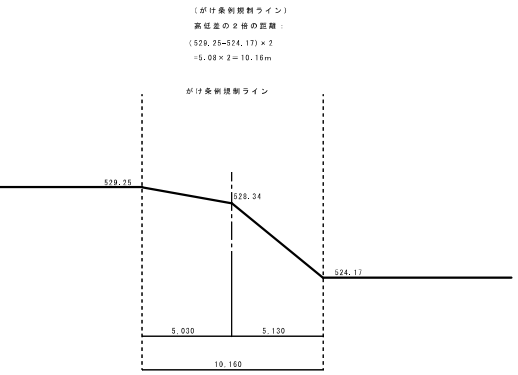
特 記	原案年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS		登録建築士 一般建築士登録 275483	図 1	組 図	設計NO.	名 称	図面NO.
・柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。 ・色調に關し監督員と協議の上、景観促進事業に準じた仕様とする。				 株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤				会津森林管理南会津支署南会津宿舎新築工事	G-04	
担当課：南会津町役場 総合政策課 地域振興係、今回工事にて必要提出書類：様式第4号（第5条関係）									階段 A1:5=1/50 A3:5=1/100		断面名 平面図、立面図、断面図 (駐輪場、自転車庫、倉庫、2'0"×1'0"×1'0")



配置図 S=1/150

- 凡例
- 搬入車両出入口を示す。
 - 敷き鉄板を示す。
 - シートゲートW6.0m×H4.5mを示す。
 - 仮囲いH=2000
 - 解体時：単管一本足場(シート共)、新築時：成形鋼板H=2,000
 - 足場を示す。
 - ※内部足場(脚立足場、階段上足場、エレベーター内足場)
 - 新築建物1を示す。
 - 新築建物2を示す。
 - 既存解体建物を示す。
 - 読者員を示す。

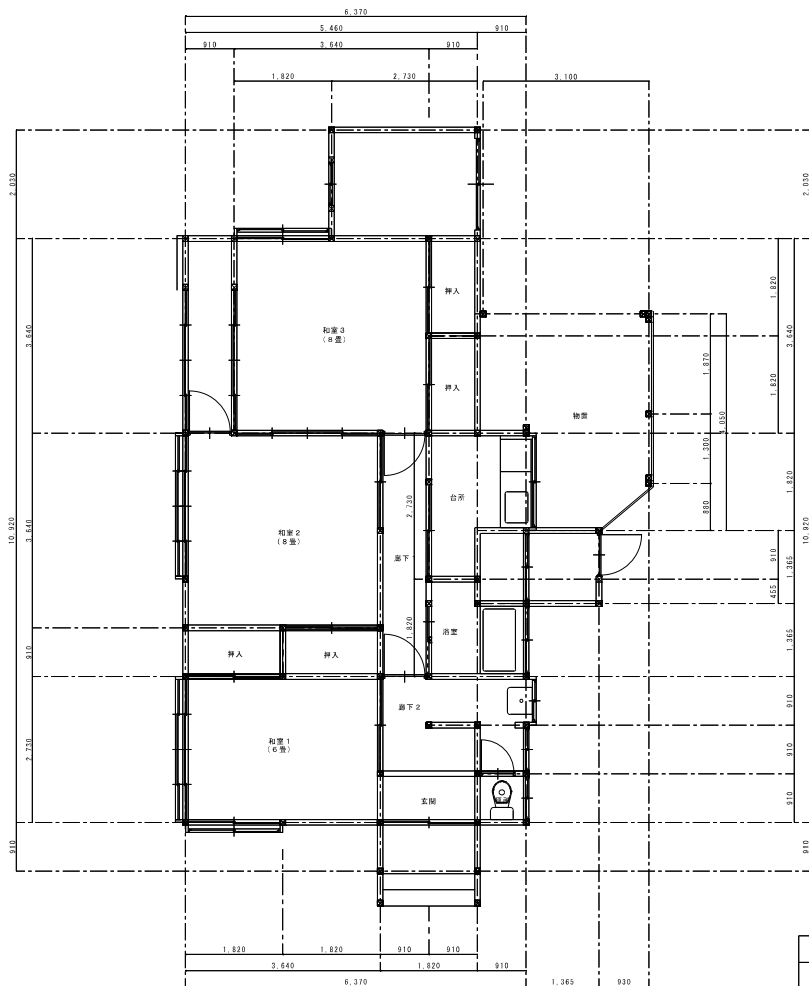
会津森林管理署南会津支署南会津庁舎		
新築工事設計図		
仕 様 書		
工 事 概 要		
1. 工 事 場 所 福島県南会津郡赤松町山口字上887-6、-867の一部		
2. 敷地面積 779.16㎡		
3. 工事種目 解体工事一式 材上撤去 建築面積：84.55㎡ 延床面積：87.31㎡		
4. 疑 義 ・本工事の設計図書による疑義は、工事契約前に質疑応答をもって確認する。 ・設計図書に記載なくても意匠上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い請負金額内の範囲にて施工する。		
5. 設計図書の優先順位・図面等の優先順位は、１）質疑応答書・２）現場説明書・３）特記仕様書 ４）設計図書・５）共通仕様書の順とする。		
施工条件		
① 作業時間等 ※指定あり ・指定なし（ありの場合の条件） ○騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯（特定建設作業に限る。） ○夜間作業 ※行わない		
② 駐車場その他 工事用車両の駐車場所 ○場内（任意）・図示 資機材の置場所 ○場内（任意）・図示		
③ 着手前対応 ※監督員との打ち合わせによる。		
④ その他施工条件 ○本施設の内では、車両通行に制限があるため、場内の規則にしたがって通行すること。通行にあたり、施設管理者と協議が必要。 ・工事時期と同時に、備品の撤去作業を別途予定している。 解体工事にあたり、備品撤去作業の受注者と十分な調整を行うこと。		
仕 様 書		
I 共通仕様		
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 建築物解体工事共通仕様書 最新版」（以下「解体共仕」という。）により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版」（以下「標準」という。）による。		
II 特記仕様		
1. 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3. 特記事項に記載の（ ）内の表示番号は、解体体の当該項目、当該図または当該表を示す。特記事項に記載の（標仕）、（ ）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。		
III 一般共通事項		
1. 解体技術者の要件 ※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1 建築士の施工に關し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一般建築士又は一般建築監理工管技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。 2. 電気保安技術者 ※要（ ） 3. 解体工事における監督員の要件 ※解体工事の施工は、次のいずれかの者の監督の下で実施すること。 1 解体工事施工士 2 解体工事の実務経験が1年半以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する場合。（1.3.3） 4. 施工条件 ※解体共仕によるほか、左記施工条件及び図示による。（1.3.5） 5. 交通安全管理（出入りの管理） ※工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようしなければならない。又、近接して他の建設工事が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通の安全を図らなくてはならない。 ※工事現場への車両等を出入らせる場合には、道路構造法及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。 （巡 視） ※交通安全巡視員により工事現場内及びその周辺の安全巡視を敢行し、事故防止設備の完備及びその維持管理に努めなければならない。 6. 周辺構造物対策 ※工事にあっては、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破壊、汚濁等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。 7. 公共設備等への対策 ※工事にによる影響があると思われる範囲内の公共施設物、架空線等の処理等について、十分に配慮して工事しなければならない。 公共の建設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法を決定しておかなければならない。 8. 発生材の処理 ※機外搬出適切処理（1.3.10） 発注者に引渡しを要する発生材 ・PCB含有物 ・金属類 工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの 9. 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。（1.4.1） 調査範囲 ・図示 貸与資料 ○アセスメント調査報告書 分析による石綿含有物の調査 ・行う(下表による) ○行わない 材 料 名 定性分析方法 定量分析方法 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。 10. 施工数量調査 調査範囲 ○図示 調査方法 ○現地確認（1.5.2）		
IV 一般共通事項		
1. 完成図等 ※下記のものを作成し提出する。作成枚数・部数は、監督員の指示による。 ○断面図（A3 3巻） ○CADデータ ・下記図面をCADデータとして電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、残置物の配置図、その他監督員が指示した図面 2. 施工図等の取扱 施工図等の著作権に係る当該建築物に際する使用権は、発注者に委譲するものとする。 3. 工事完了後の取扱い 工事完了後、整理のうえ監督員に提出する。提出部数 3部 工事完成写真は、着手前の敷地全景（敷地の位置は朱線で記入）、外部全景4面、内部主要室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した箇所等とする。 4. 工事施工状況写真 工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 常務工事写真撮影要領（最新版）」による工事写真撮影ガイドブック（最新版））を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略出来る提出部数 3部 印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。 5. 騒音・粉じん等 防音パネル ○防音シート ・養生シート 防音パネルの設置範囲と高さ 設置範囲 ○図示 高 さ ○図示 6. 足場その他 1)手すり先行工法に関するけいこうに基づく足場の設置に当たっては、けいこうの削減(1)手すり先行工法による足場の組立等に関する基準)における2)の手すり設置方式又は3)手すり先行専用足場方式により行う。 7. 総合仮設計画 ※現場物の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。 8. 監督員用事務所等 ・監督員事務所 ・10・20・35・65㎡程度を設ける。（2.3.1） ・仮設事務所の中に監督員用空間を確保する。 ・監督員が使用する備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 9. 工事用水 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償） 10. 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる（※有償 ・無償） 11. 仮設建物等 現場事務所、倉庫、小売店等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 12. 事前措置 ※浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。（3.2.1） 13. 機器等の解体 ※工事範囲内の機器類は、各種ごとに分別解体する。（3.4.1） 設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー液・フロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。 14. 基礎及び杭（基礎型と想定） 杭の撤去 ※行う ・残置 既成または一部撤去の場合の処理 ※杭柱、杭柱、位置、杭頭部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。 解体方法 ※引抜き ・破砕 ・杭頭はつり（ mまで） 引き抜いた杭の処理 ・ 杭撤去の際の処理 ・山砂 ・流動化処理土 ・セメントミルク ・ 杭の種類 ・遠心力鉄筋コンクリートくい ・高強度プレストレスコンクリートくい ・場所打ちコンクリートくい ・木くい ・RCパイル 建物名等 杭径 長さ 本数 備 考 15. 大きく、照明設備等の付属物 ・行わない ○行う（ ・ ○図示）（3.10.1） 16. 構内舗装等 樹木等の伐採・伐根 ・行わない ○行う ○草刈程度 ・図示（3.11.1） 支脚となる樹木の移植 ・行わない ・行う（ ・ ・図示） 17. 地下埋設物及び埋設配管 撤去する地下埋設物、埋設配管 ○あり ○図示 （ ） ・なし（3.12.1）		
V 特別管理産業廃棄物の処理		
1. 解体後の整地 埋戻し及び盛土 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 （標仕3.2.3）（標仕表3.2.1） 発生土の処理 ・構内集約の場所（・般均し ・堆積） （標仕3.2.5） ○機外搬出適切処理（指定制場所） ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする 2. 火気使用作業等 ※解体工事時にガスパナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生のおそれがある場合には、事前に所轄の消防署へ連絡し、適切な措置を講じて作業しなければならない。 3. 再資源化等 中間処理、再資源化施設 ※「追加特6 建設廃棄物の処理」による。（4.4.1） 再資源化する建設廃棄物 ※建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 ※金属類 ※資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ※資源有効利用促進法に基づく指定再資源促進製品 ・廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ガラス 指定建設資材廃棄物としての木材の縮減(張期) ※不可 ・可 再資源化して現場で利用する建設廃棄物 4. 処理に注意を要する建設廃棄物 処理に注意を要する建設廃棄物（4.5.1） ・せっこうボード（石棉含有） ・せっこうボード（ひ素・カドミウム含有） ・せっこうボード（上記以外） ・CCA処理木材（クロム・銅・ひ素化合物系防腐処理木材） 処理の方法 ・解体共仕第4章5節による。 施工に先立ち、処理計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。 5. 廃石綿等 ※6 石綿含有建材の除去及び処理による。（5.4.1(1)) 6 PCB含有機器類 調査方法 ※製造所、製造年、型式等による調査（5.4.1(2)） ・専門分析機関による機査PCB分析調査 調査対象 上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。 7 PCB含有シーリング材 事前調査等 ・行う(下記の要領で分析する) ・行わない（5.4.1(3)） 現場においてサンプを採取し、専門分析機関で分析を行う。 採取箇所 ※外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示 採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 分析によりPGBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。 調査範囲 ※工事範囲全て ・図示 調査内容 シーリング使用部位及び養生の確認 施工範囲と工事監視区分の確認 仮設計画 廃棄物等の搬出方法 8 廃油 処理方法 ・焼却処分 ・中間処理施設による再生処理（5.4.1(4)） 9 廃酸・廃アルカリ 処理方法 ・中和処理 ・焼却処分（5.4.1(5)） ・中間処理施設による再生処理 10 ダイオキシンのサンプリング調査 ・行う ・行わない（5.4.1(6)） 材 料 名 調査箇所 測定方法 検出施設の解体及び処分方法 ダイオキシン対策特別措置法施行令(平成11年政令第 433号)その他関係法令に従い、適切に処理すること。 11 共通 建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等に基づく害のある建設物等における業務での労働者の石綿への曝露に関する技術上の指針（令和6年1月31日付け 技術上の指針第25号） ・新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止77% （建設業労働災害防止協会） ・建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散抑制防止対策徹底度77% 令和6年2月（厚生労働省、環境省） 12 石綿粉じん濃度測定 石綿粉じん濃度測定 ・行う ○行わない [6.1.3] 測定時期、場所及び測定点 通用測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数 （各処理作業ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 ・（ ）点 ・測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ・（ ）点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 ・（ ）点 ・測定4 材料の投入口 ・（ ）点 ・測定5 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の集合) 1m/s以下の位置各1点 ・（ ）点 ・測定6 施工		



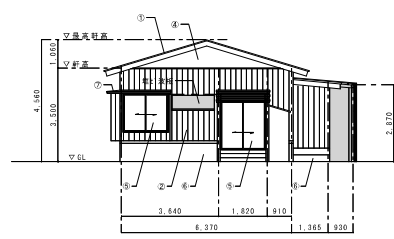
配置図 S=1/150

- 凡例 —
-  : 出入口を示す。
-  : 敷地高低差を示す。
- NO.
 : 地盤調査位置を示す。

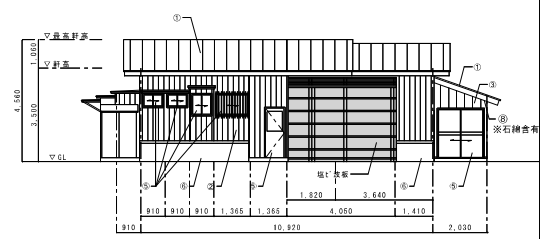
特 記	原簿番号	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	受理建築士 一般建築士会誌 275463	写 入	製 図	縮 尺	設計NO.	6 号	会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事	調査NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤				縮尺 A 1:50/150 A 3:50/200	調査名	案内図、解体配置図	KA-03



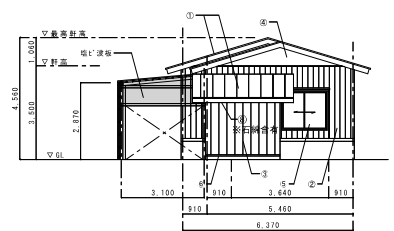
平面図 S=1/50



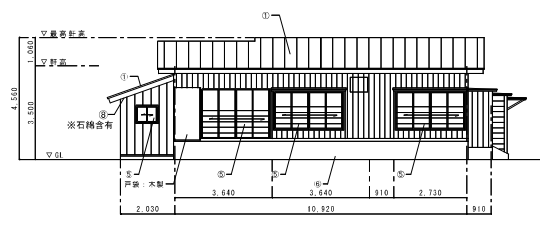
南側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

建物面積表	
建築面積	84.56㎡
延床面積	87.31㎡

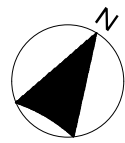
建物面積表 (台帳上の面積)	
建築面積	73.78㎡
延床面積	73.78㎡

外部仕上表			内部仕上表						
番号	部位	内容	主な仕上	床	巾木	内壁	廻縁	天井	天井高
①	屋根	カラーガルバリウム鋼板瓦葺き	和室1 (6畳)	畳	畳寄せ	ブラッシー	木製 40×30	木板	2.500
②	外壁 1	木板張り	和室2 (8畳)	畳	畳寄せ	ブラッシー	木製 40×30	木板	2.500
③	外壁 2	金属サイディング	和室3 (8畳)	畳	畳寄せ	ブラッシー	木製 40×30	木板	2.360~2.570
④	外壁 3	タイルの上塗	台所	フローリング 一部土間コンクリート	木製	ブラッシー	木製 40×30	木板	2.300
⑤	床	アルミ製	便所	フローリング	木製	ブラッシー	木製 40×30	木板	2.270
⑥	基礎	鉄筋コンクリート造	浴室	土間コンクリート	タイルの上塗り	タイルの上塗り	—	タイルの上塗り	2.580
⑦	庇	カラーガルバリウム鋼板葺き	廊下1	フローリング	木製	ブラッシー	木製	木板	2.300
⑧	軒天	ケイカル板 (アスベスト含有建材)	廊下2	フローリング	木製	ブラッシー	木製	木板	2.300
備考		混含高麗物 10㎡ 設備 (照明、給排水衛生共撤去)	玄関	土間コンクリート	タイル H=300 木製	ブラッシー	木製	木板	2.600

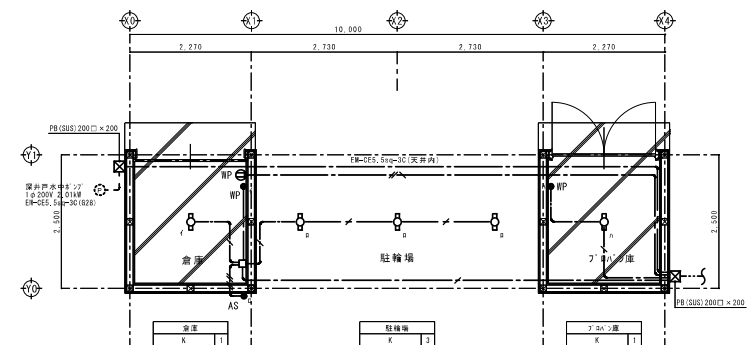
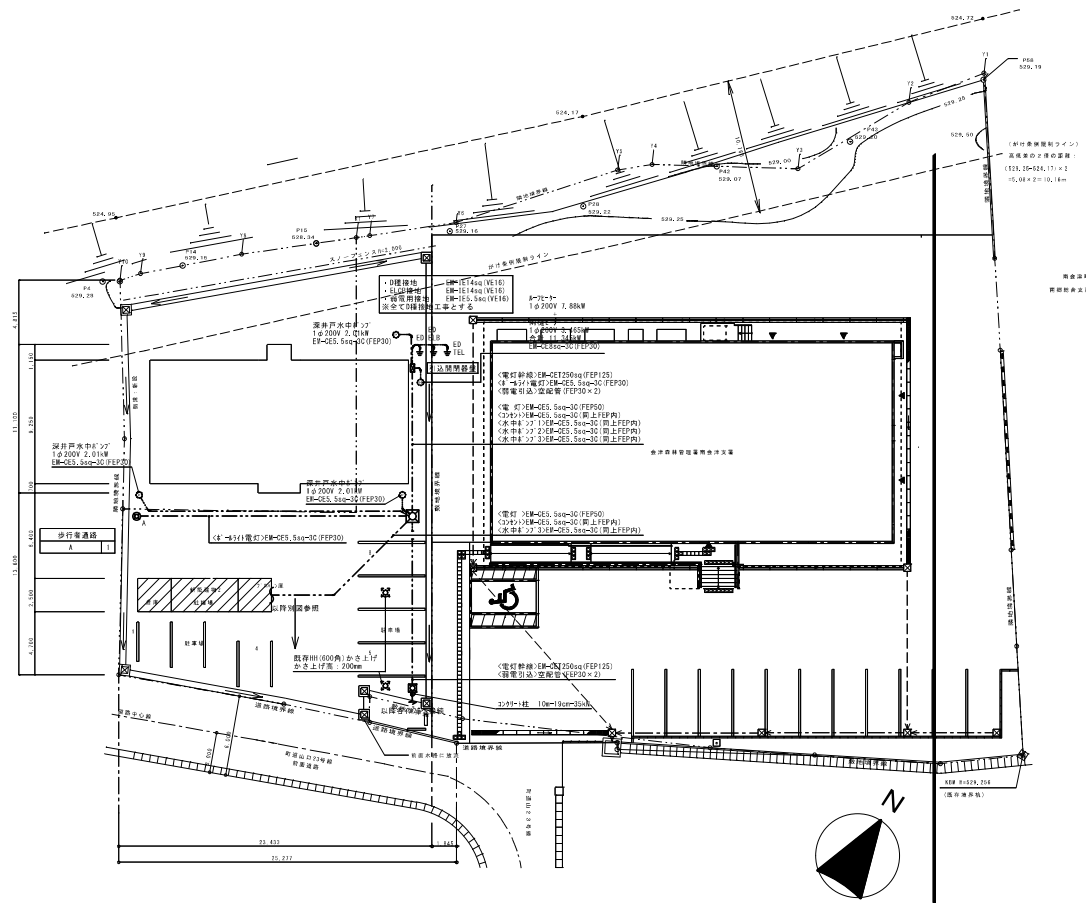
アスベスト分析結果			
軒天	ケイカル板	含有	クリンタイル
外壁	仕上塗材	含有	
内壁	仕上材	含有	

※アスベスト含有建材は適切な処理（撤去）を行うこと。

PCB分析結果			
シーリング	シーリング材	含有	



電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書				C 工 事 区 分 表							4 照 明 器 具			
A 工 事 概 要				機 器 基 礎 コ ン ク リ ー ト							○ 公 共 施 設 仕 様 (L E D 仕 様)			
1)工 事 名 称		会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事		床、壁、梁のスリーブ							○ ベースライト 一般形 L E D ー 体 型			
2)工 事 場 所		福島県南会津郡南会津町山口字村上867-8、867の一部		同 上 補 強 工 事							○ 1 L タイプ 一般形 L E D ー 体 型			
3)建 築 概 要		棟 名 称 宿 舎		天井開口補強工事							・ 水銀灯安定器 低始動電流型			
		工 種 新 築		天井開口補強工事										
		構 造 木 造 4 階 建 て		空調機器操作スイッチ										
		延 面 積 (㎡) 733.04 ㎡		同 上 取 付										
4)工 事 項 目				同 上 制御用配管、配線										
				はつり、穴あけ補修							○			
		1. 幹線設備工事		○							・			
		2. 電灯・ｺﾝﾎﾞ設備工事		○							・			
		3. 照明器具設備工事		○							・			
		4. 弱電設備工事		○							・			
		5. 自動火災報知設備工事		○							・			
				・							・			
				・							・			
B 一 般 共 通 事 項				D 共 通 項 目							E 機 器 取 付 高 さ			
1)摘 要 範 囲				1 電 線 管 類							機器取付高さは下表を標準とする。ただし、係員の指示により変更する ことができる。			
				○ 金属管 おなじし電線管 (E)							取引用計器 地上＋上端 1 8 0 0 壁掛スピーカー 床上＋上端 天井高×0.9			
				・ " 薄鋼電線管							引込用開閉器 " 1 9 0 0 " 子時計 " "			
				・ " 厚鋼電線管							分 電 盤 床上＋上端 1 9 0 0 ブザー、チャイム " "			
				○ 合成樹脂管 硬質ビニール電線管、耐衝撃性 (V E) (H I V E)							手元開閉器 " 1 8 0 0 電話用ボックス 床上＋中心 3 0 0			
				○ " エフleks管 (F E P)							ミラーライト 鏡上＋中心 1 5 0 " (和室)			
				○ " P F 1 重管 (P F)							スイッチ 床上＋中心 1 3 0 0 テレビ受口 床上＋中心 3 0 0			
				・ ケーブルラック							コンセント (一般) " 3 0 0 " (和室)			
				・ メタルモール、ビニールモール							" (和室) 畳上＋中心 2 0 0 アッテネーター 床上＋中心 1 3 0 0			
				・ レースウェイ							" (台上) 台上＋中心 1 5 0 壁付押鉤 " 1 3 0 0			
2)疑 義											F 機 器 , 材 料 の 指 定			
											機器、材料は下記の製造業者の製品又は同等以上の製品とする。			
											製 品 名 製 造 業 社 名			



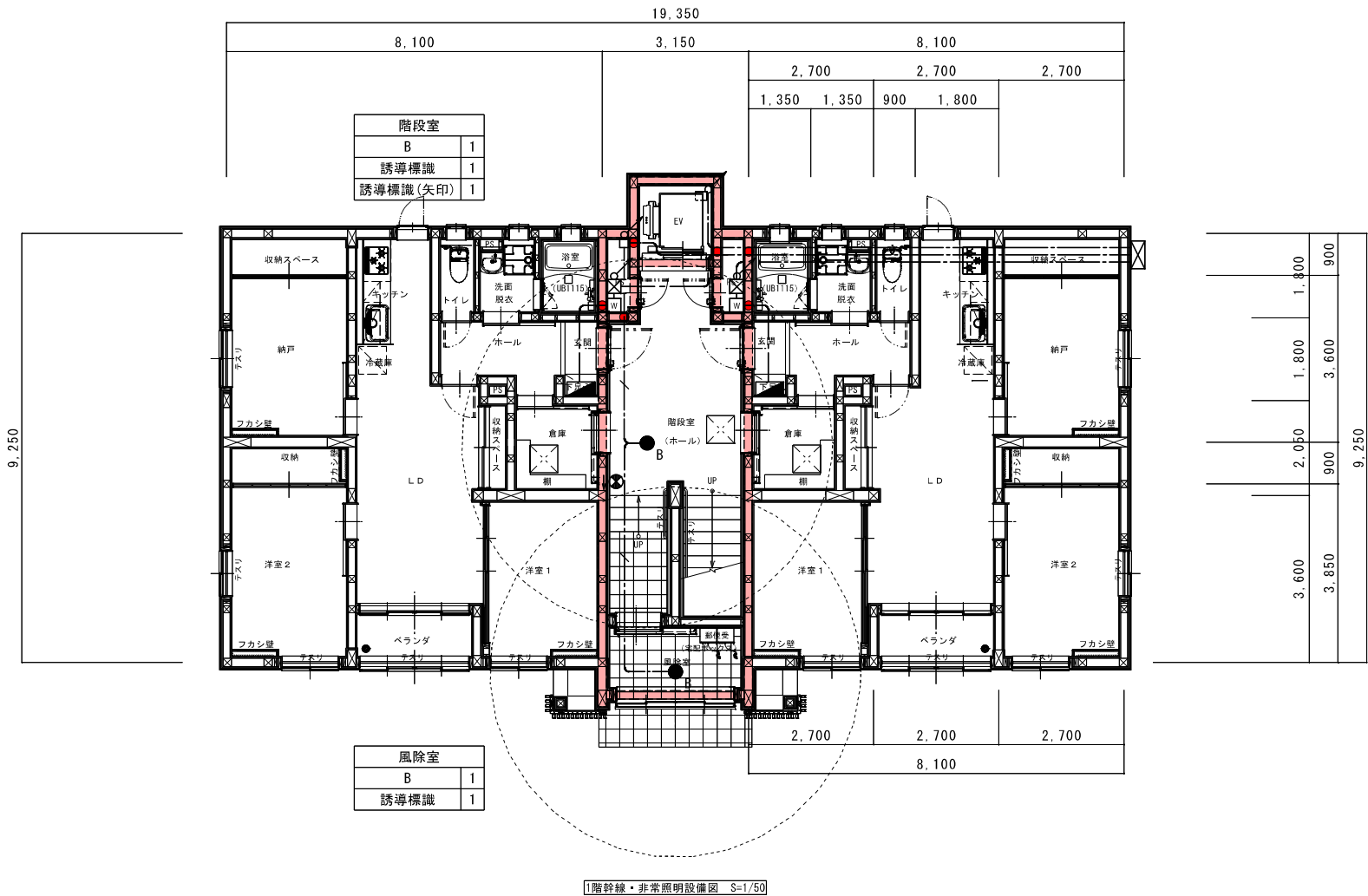
特 記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	登録建築士 一般建築士会員 276463	図 1	製 図	縮 尺	設計 NO.	名 称	備考 NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤				概略 A1 : 1/200, 1/50 A3 : 1/400, 1/100	会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事 配置図	E-02

[illegible]

記 号	名 称	備 考
	分電盤 (住戸用)	
	電力計箱	
	非常照明	

配線凡例	
	EM-EFF1.6-3C (天井内ころがし) 立下: 本ケーブル

※特記なき幹線は幹線系統図を参照



階段室	
B	1
誘導標識	1
誘導標識(矢印)	1

風除室	
B	1
誘導標識	1

1階幹線・非常照明設備図 S=1/50

(注記) 防火区画貫通部は、下記の防火区画貫通工法にて施工すること。

部 位	種 別	認 定 番 号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	鋼製電線管	
	不燃材にて隠蔽処理	
認定番号: 第117号		

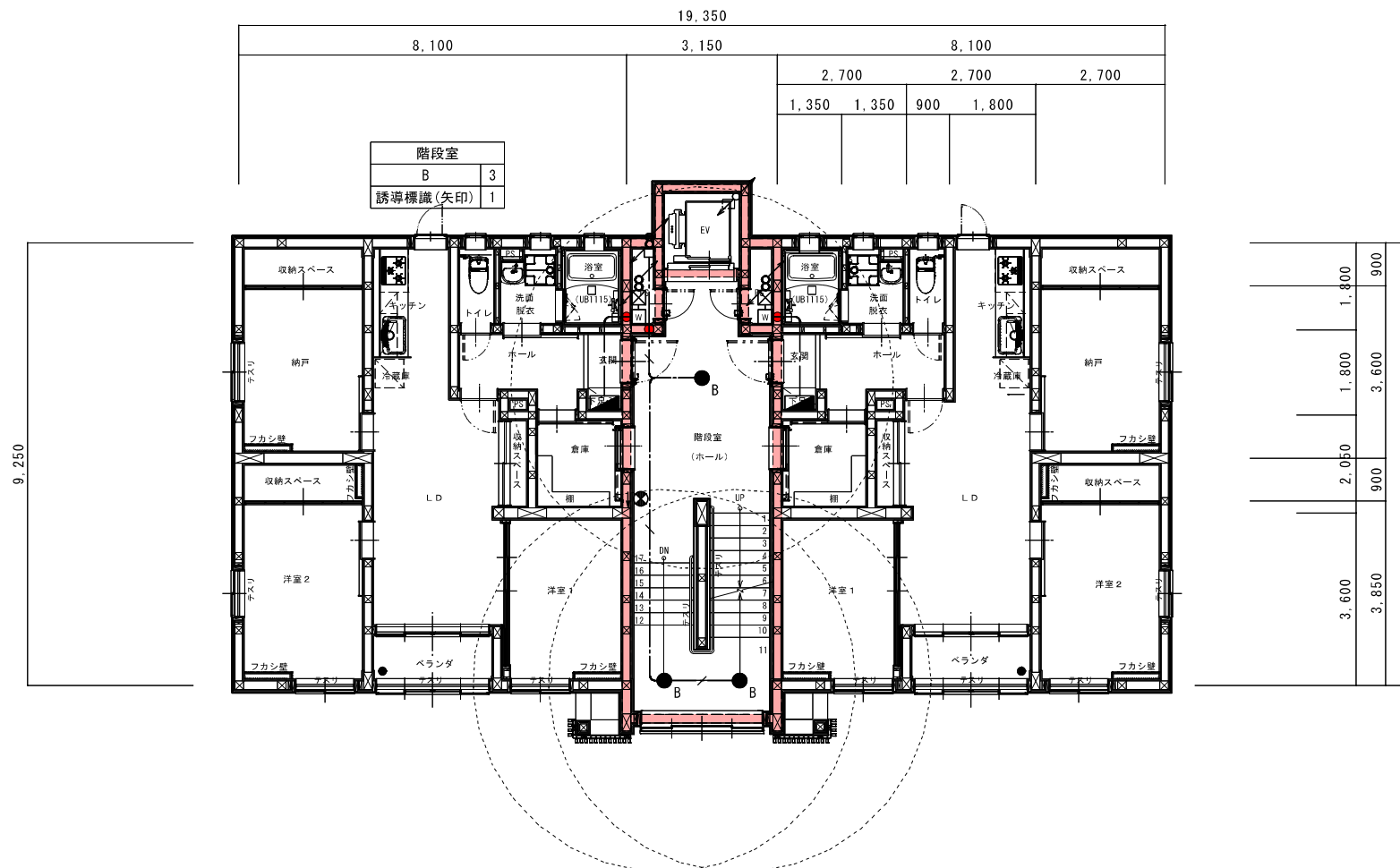
部 位	種 別	認 定 番 号
壁	鋼製電線管	PS060WL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通処理を示す。

記 号	名 称	備 考
■	分電盤 (住戸壁)	
W	電力計箱	
●	非常照明	

配線凡例	
—	EM-EFF1.6-30 (天井内ころがし) 立下: 本システム

※特記なき幹線は幹線系統図を参照



2.3階幹線・非常照明設備図 S=1/50

(注記) 防火区画貫通扉は、下部の国土交通大臣認定工法にて施工すること。

部 位	種 別	認 定 番 号
床	合成難燃敷電線管	PS060FL-0856
	銅製電線管	不燃材にて防炎処理 建設省告示第1379号

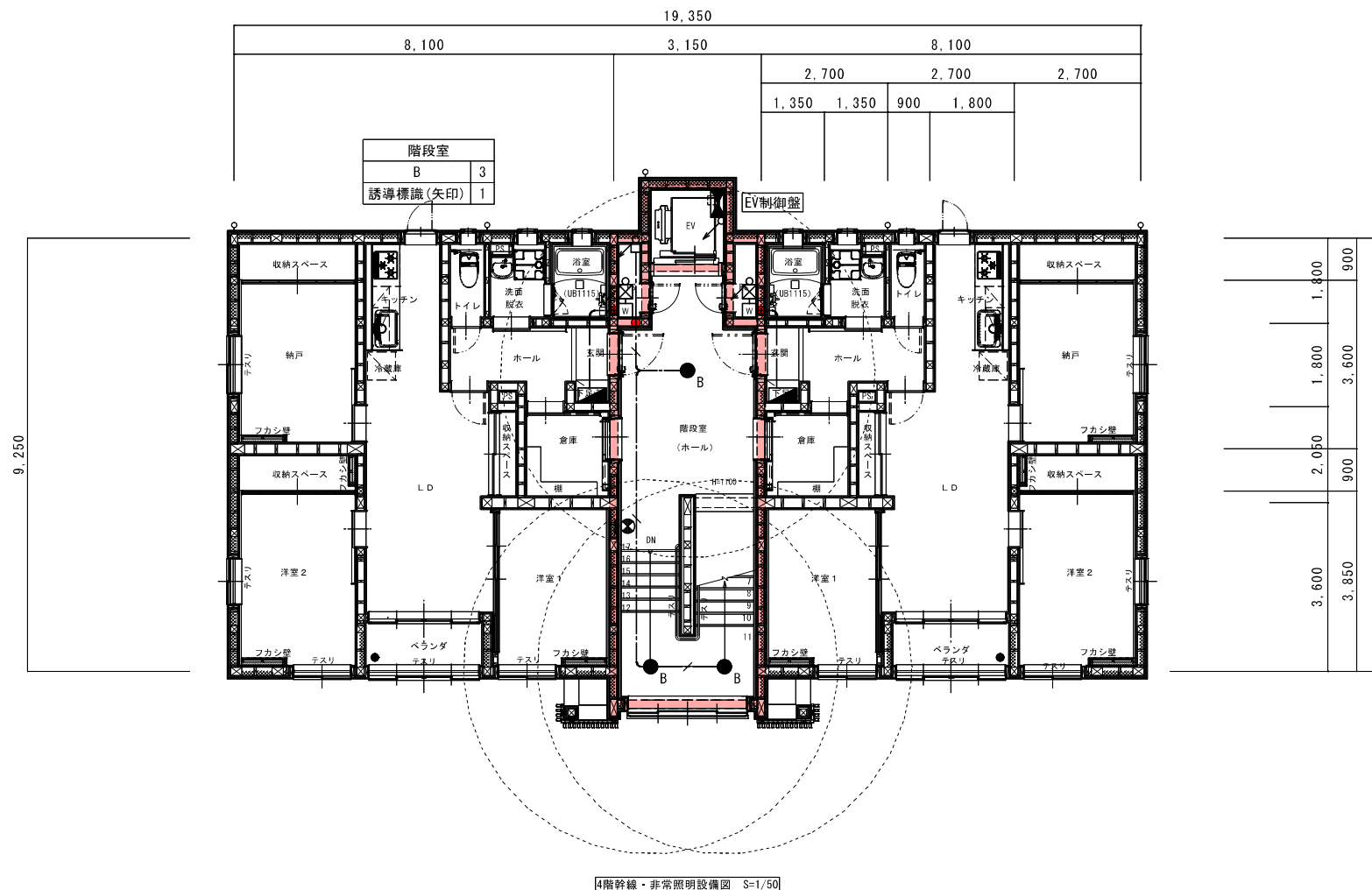
部 位	種 別	認 定 番 号
壁	銅製電線管	PS060WL-0269
	合成難燃敷電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通処理を示す。

記 号	名 称	備 考
■	分電盤 (住戸壁)	
W	電力計箱	
●	非常照明	

配線凡例	
—	EM-EFF1.6-30 (天井内ころがし) 立下: 本システム

※特記なき幹線は幹線系統図を参照

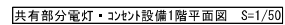
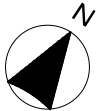


部 位	種 別	認 定 番 号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	銅製電線管	不燃材にて耐火処理 建設省告示第1278号

部 位	種 別	認 定 番 号
壁	銅製電線管	PS060BL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通処理を示す。

配線凡例		
——/——	EM-EEF1.6-3C	(天井内ころがし) 立下:木ｽｯｸﾞﾙ
——-——	EM-EEF2.0-3C	(天井内ころがし) 立下:木ｽｯｸﾞﾙ



（注記）防火区画貫通部は、下記の国土交通大臣認定工法にて施工すること。

部 位	種 別	認 定 番 号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	銅製電線管	不燃材に該当充填
		建設省告示第137号

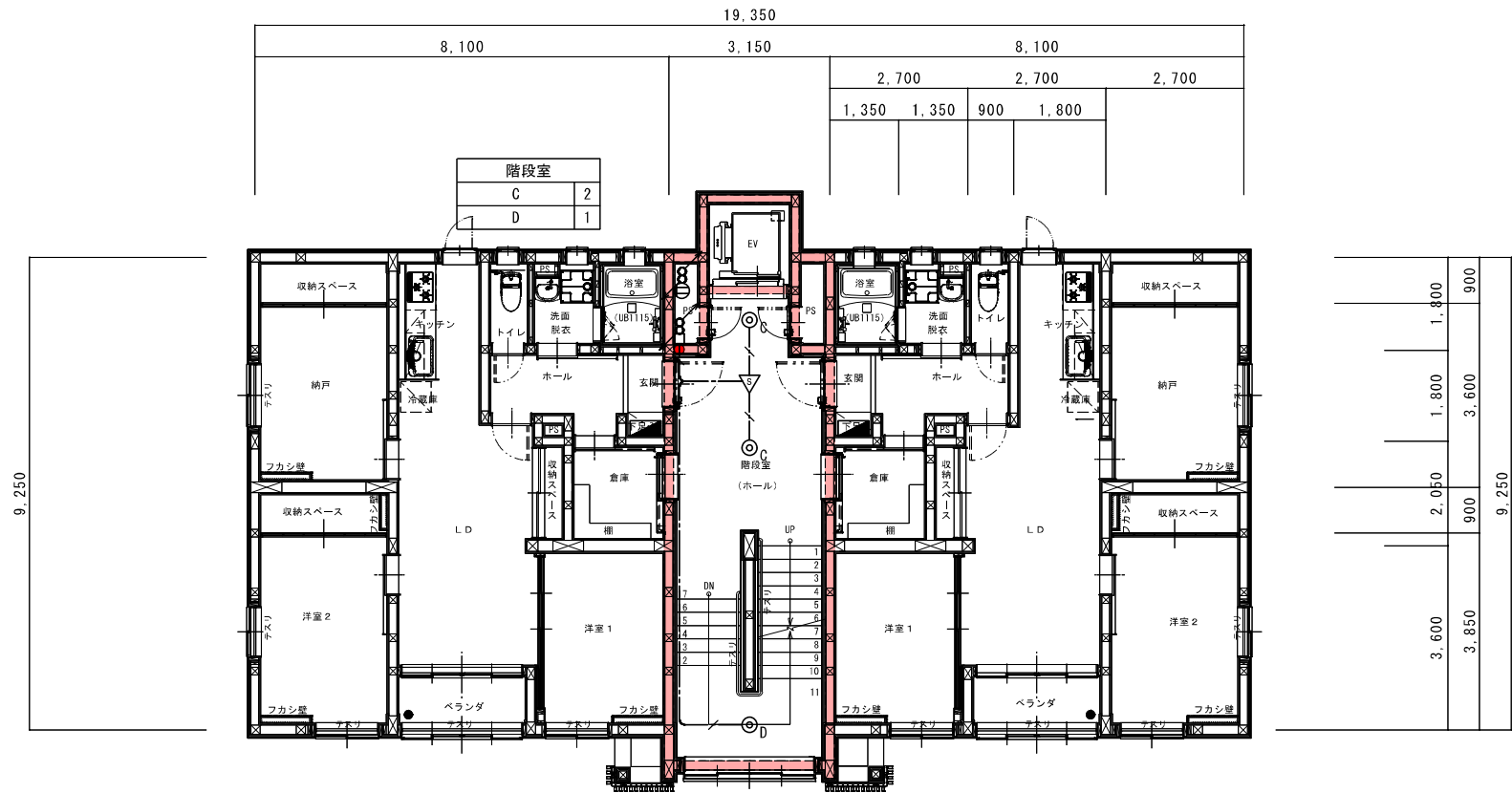
部 位	種 別	規 定 番 号
壁	鋼製電線管	PS 060WL-0269
	合成樹脂製電線管	PS 060WL-116

●印は防火区画貫通処理を示す。

柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。	建築設計	作業設計	計算書提出	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	常務建築士・一般建築士登録 275448	高橋 潤	高橋 潤	高橋 潤	設計NO.	名 称	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事	図面NO.
	株式会社			高橋 建築設計事務所	高橋 潤				施図 A 1-5+1.50 A-2-3+1.00	図面名 共有部分電灯・コンセント設備1階平面図		E-07

記号	名称	備考
▽	熱線式人感センサ	照機
⊙	壁付コンセント(TV取替箱用)	2P15A×2E

配線凡例		
—/—	EM-EFF1.6-3C	(天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EFF2.0-3C	(天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ



共有部分電灯・コンセント設備2・3階平面図 S=1/50

(注記) 防火区画貫通部は、下記の国土交通大臣認定工法にて施工すること。

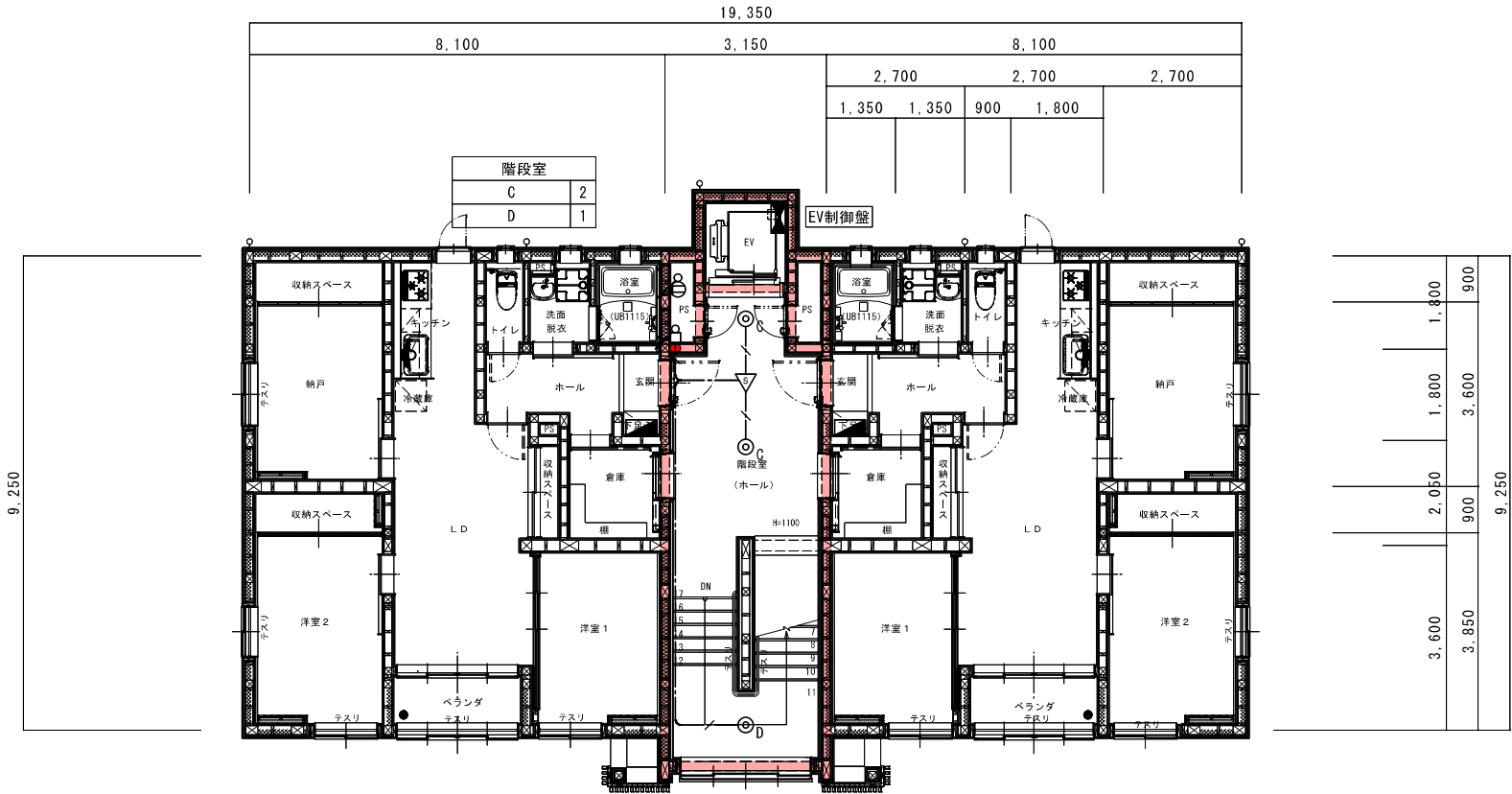
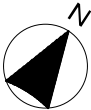
部位	種別	認定番号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	鋼製電線管	不燃材にて被覆充填
		建設省告示第1378号

部位	種別	認定番号
壁	鋼製電線管	PS060WL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通部を示す。

記号	名称	備考
▽	熱線式人感センサ	壁機
○	壁付コンセント(TV取替箱用)	2P15A×2E

配線凡例		
—	EM-EFF1.6-3C	(天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EFF2.0-3C	(天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ



共有部分電灯・コンセント設備4階平面図 S=1/50

(注記) 防火区画貫通扉は、下記の防火区画貫通扉工法にて施工すること。

部 位	種 別	認 定 番 号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	不燃材にて隙間充填 樹脂電線管	建設省告示第1376号

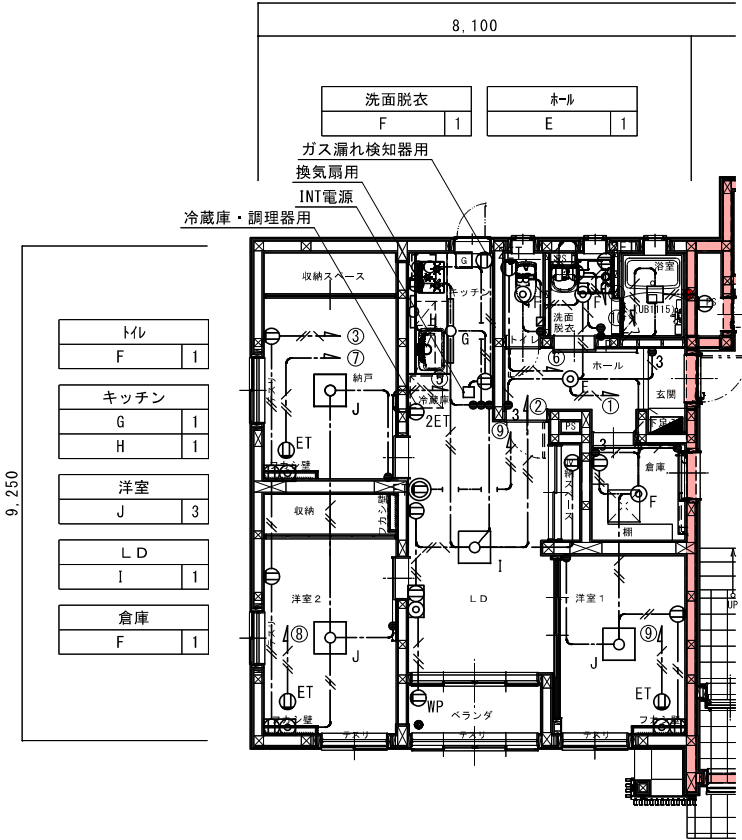
部 位	種 別	認 定 番 号
壁	鋼製電線管	PS060BL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通処理を示す。

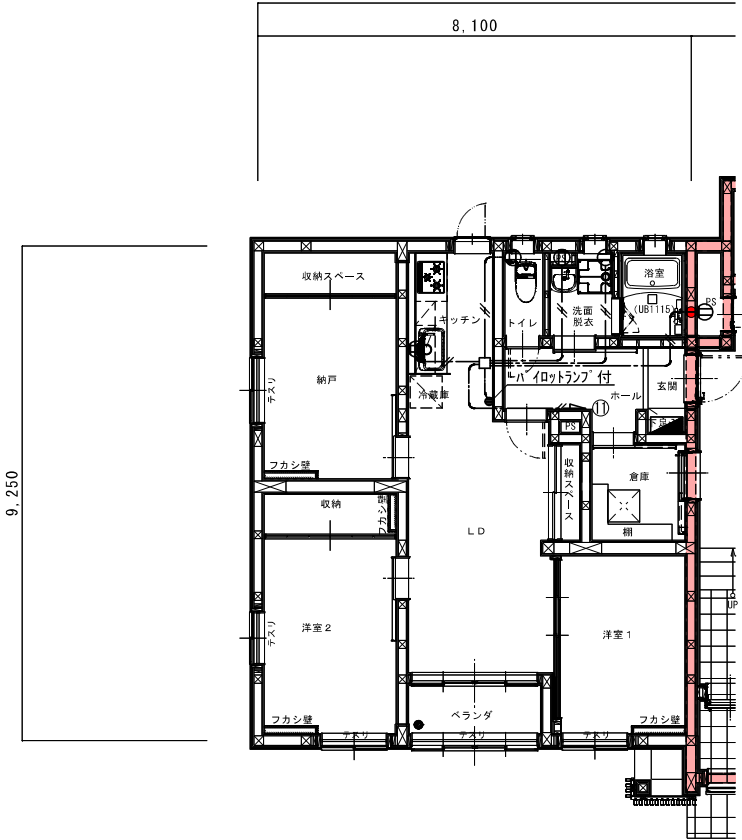
特 記 柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。	建築年月日 作成年月日 訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS 株式会社 高橋建築設計事務所	登録建築士 一般建築士登録 275483 高橋 潤	設計NO. 名 称 図面名 共有部分電灯・コンセント設備4階平面図	図面NO. E-09
---------------------------------	-------------------------	--	------------------------------	--	---------------

記 号	名 称	備 考
○WP	壁付コンセント(防水)	2P15A×3E
○ET	壁付コンセント(エアコン用)	2P15A×1EET
○ET	壁付コンセント(エアコン用)	2P20A×1(200V)EET
○ET	壁付コンセント	2P15A×2
○2ET	壁付コンセント	2P15A×2ET
●	壁付スイッチ	1P15A×1
●	壁付スイッチ	3W15A×1
●	壁付スイッチ	1PL15A×1
□	支給品スイッチ	
□	701111BOX	102×44(鋼製)

記 号	名 称	備 考
---	EW-EF1.6-2C	(天井内こころし) 立下:木スタップル
---	EW-EF1.6-3C	(天井内こころし) 立下:木スタップル
---	EW-EF2.0-2C	(天井内こころし) 立下:木スタップル
---	EW-EF2.0-3C	(天井内こころし) 立下:木スタップル



住戸部分電灯・コンセント詳細図 S=1/50



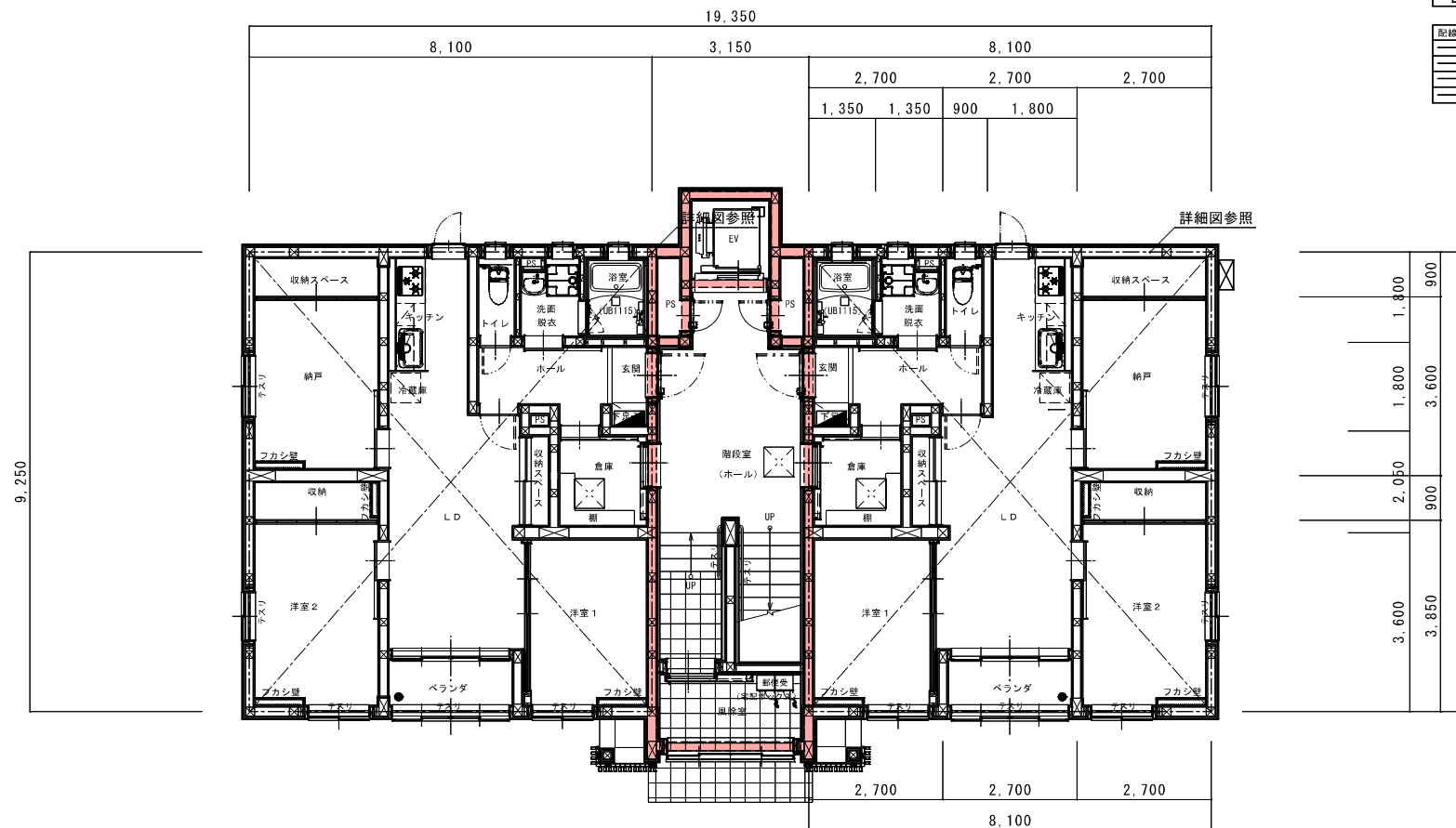
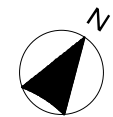
住戸部分ヒータコンセント詳細図 S=1/50

部 位	種 別	品 定 号
壁	鋼鉄電線管	PS060KL-0269
	合成樹脂電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通処理を示す。

記 号	名 称	備 考
⊙WP	壁付コンセント(防水)	2P15A×3E
⊙ET	壁付コンセント(775用)	2P15A×1EET
⊙ET	壁付コンセント(775用)	2P20A×1(200V)EET
⊙	壁付コンセント	2P15A×2
⊙2ET	壁付コンセント	2P15A×2ET
●	壁付スイッチ	1P15A×1
●3	壁付スイッチ	3W15A×1
●P	壁付スイッチ	1PL15A×1
⊠	支給品スイッチ	
□	775用180X	102×44(鋼製)

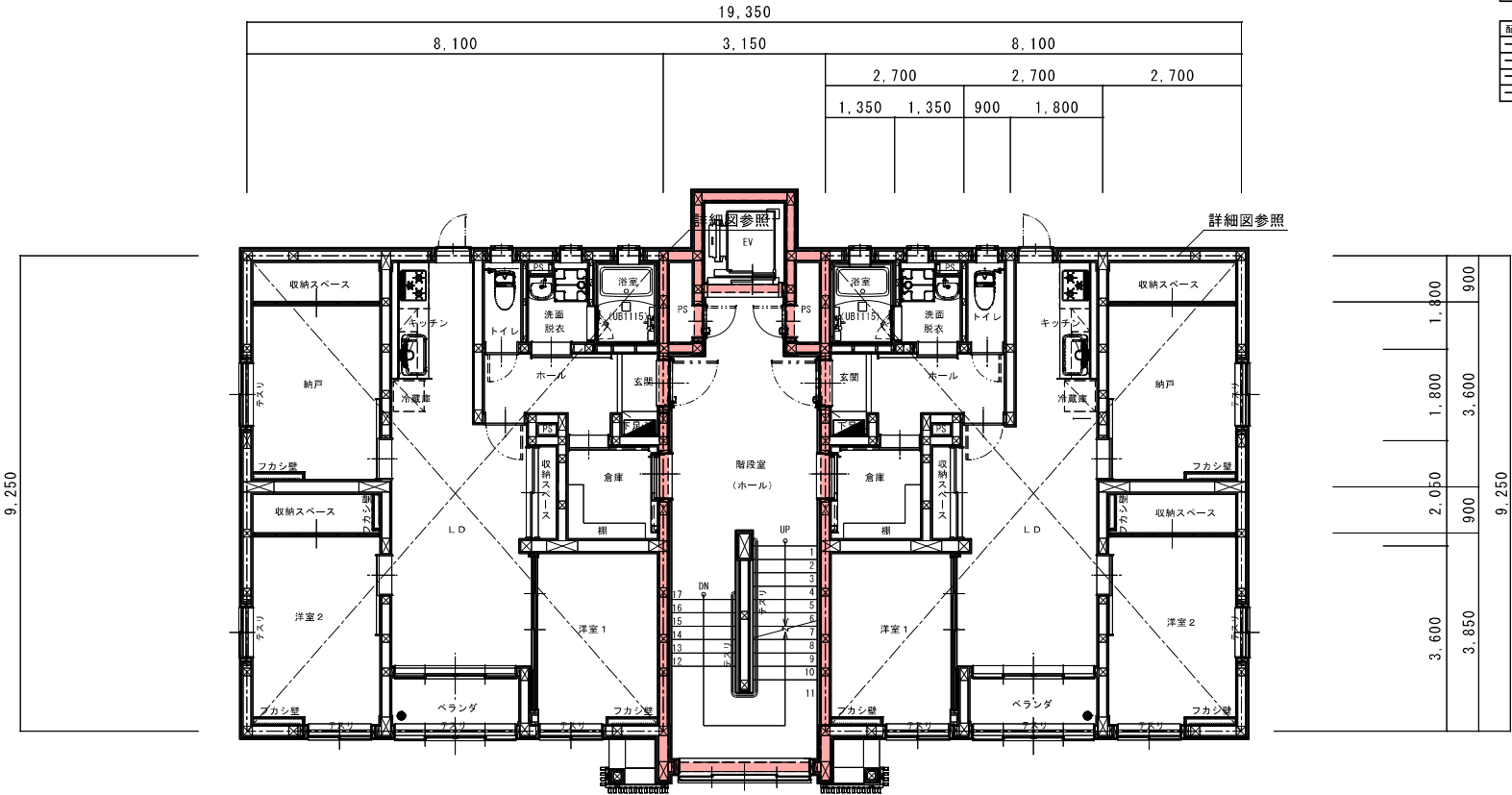
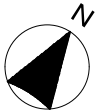
配線凡例	
---	EM-EET1.6-20 (天井内こころし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EET1.6-30 (天井内こころし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EET2.0-20 (天井内こころし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EET2.0-30 (天井内こころし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ



住戸部分電灯・コンセント設備1階平面図 S=1/50

記 号	名 称	備 考
○EP	壁付コンセント(防水)	2P15A×3E
○ET	壁付コンセント(17A用)	2P15A×1EET
○ET	壁付コンセント(17A用)	2P20A×1(200V)EET
○ET	壁付コンセント	2P15A×2
○2ET	壁付コンセント	2P15A×2ET
●	壁付スイッチ	1P15A×1
●3	壁付スイッチ	3W15A×1
●p	壁付スイッチ	1PL15A×1
□	支給品スイッチ	
□	アタッチBOX	102×44(鋼製)

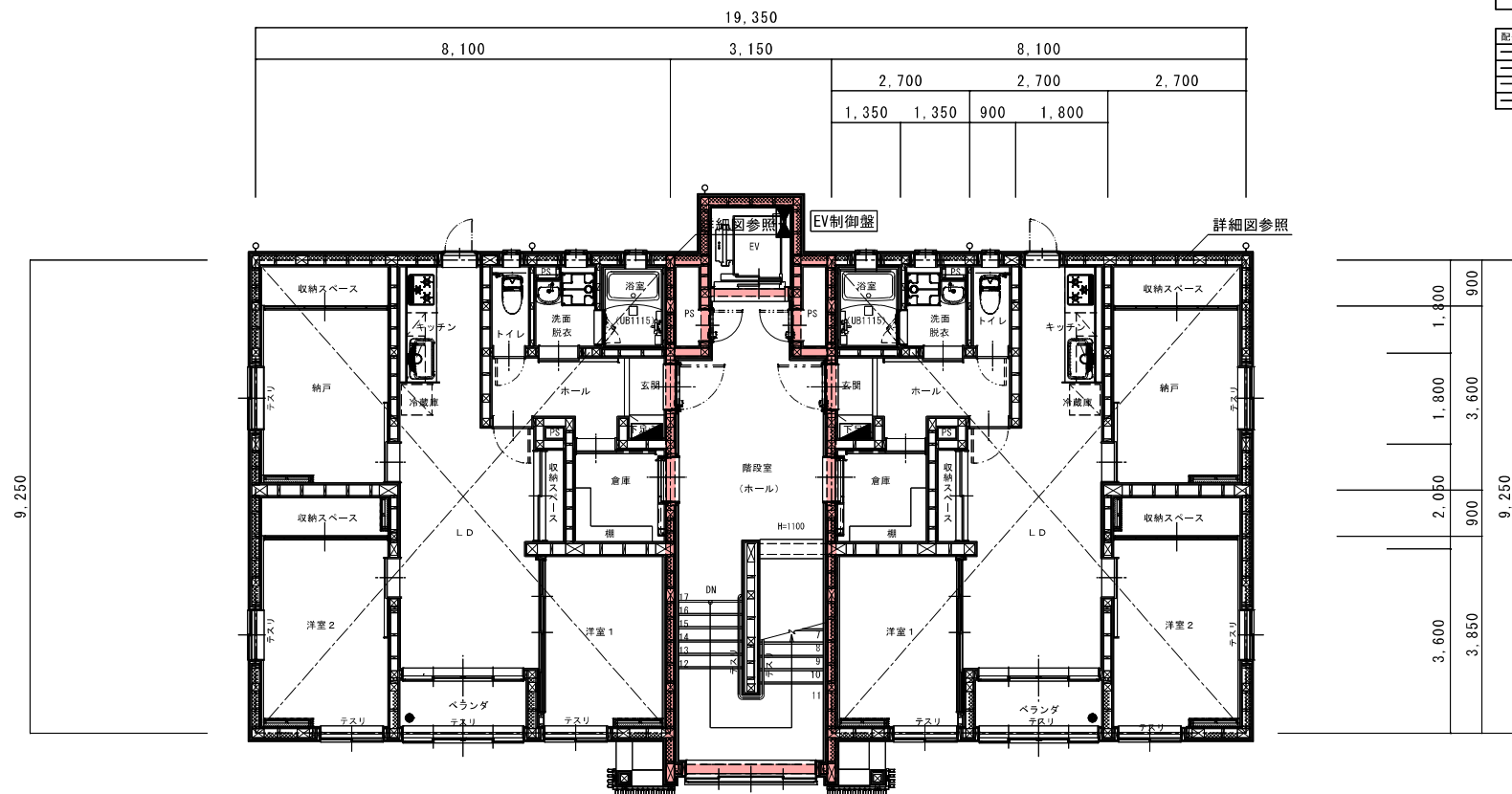
配線凡例	
—	EW-EF1, 6-2C (天井内ごろし) 立下 : 木ｽｯﾌﾟﾙ
—	EW-EF1, 6-3C (天井内ごろし) 立下 : 木ｽｯﾌﾟﾙ
—	EW-EF2, 0-2C (天井内ごろし) 立下 : 木ｽｯﾌﾟﾙ
—	EW-EF2, 0-3C (天井内ごろし) 立下 : 木ｽｯﾌﾟﾙ



住戸部分電灯・コンセント設備2・3階平面図 S=1/50

記 号	名 称	備 考
ⓂP	壁付コンセント(防水)	2P15A×3E
ⓂET	壁付コンセント(75V用)	2P15A×1EET
ⓂET	壁付コンセント(75V用)	2P20A×1(200V)EET
Ⓜ	壁付コンセント	2P15A×2
Ⓜ2ET	壁付コンセント	2P15A×2ET
●	壁付スイッチ	1P15A×1
●3	壁付スイッチ	3W15A×1
●P	壁付スイッチ	1PL15A×1
ⓧ	支給品スイッチ	
□	700×180X	102×44(鋼製)

配線凡例	
---	EM-EEF1.6-20 (天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EEF1.6-30 (天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EEF2.0-20 (天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ
---	EM-EEF2.0-30 (天井内ころがし) 立下:木ｽﾏｯﾌﾟﾙ



住戸部分電灯・コンセント設備4階平面図 S=1/50

記線凡例	
	EW-S-5C-FB (天井内ころがし) 立下: 本ステップル
	EW-AE1.2-2C (天井内ころがし) 立下: 本ステップル
	空配管には呼び線を入線すること

A circle with a shaded sector. A handwritten 'N' is above the circle.



部 位	種 別	固 定 番 号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	鋼製電線管	不燃材にて線閉充填
		建設省告示第1378号

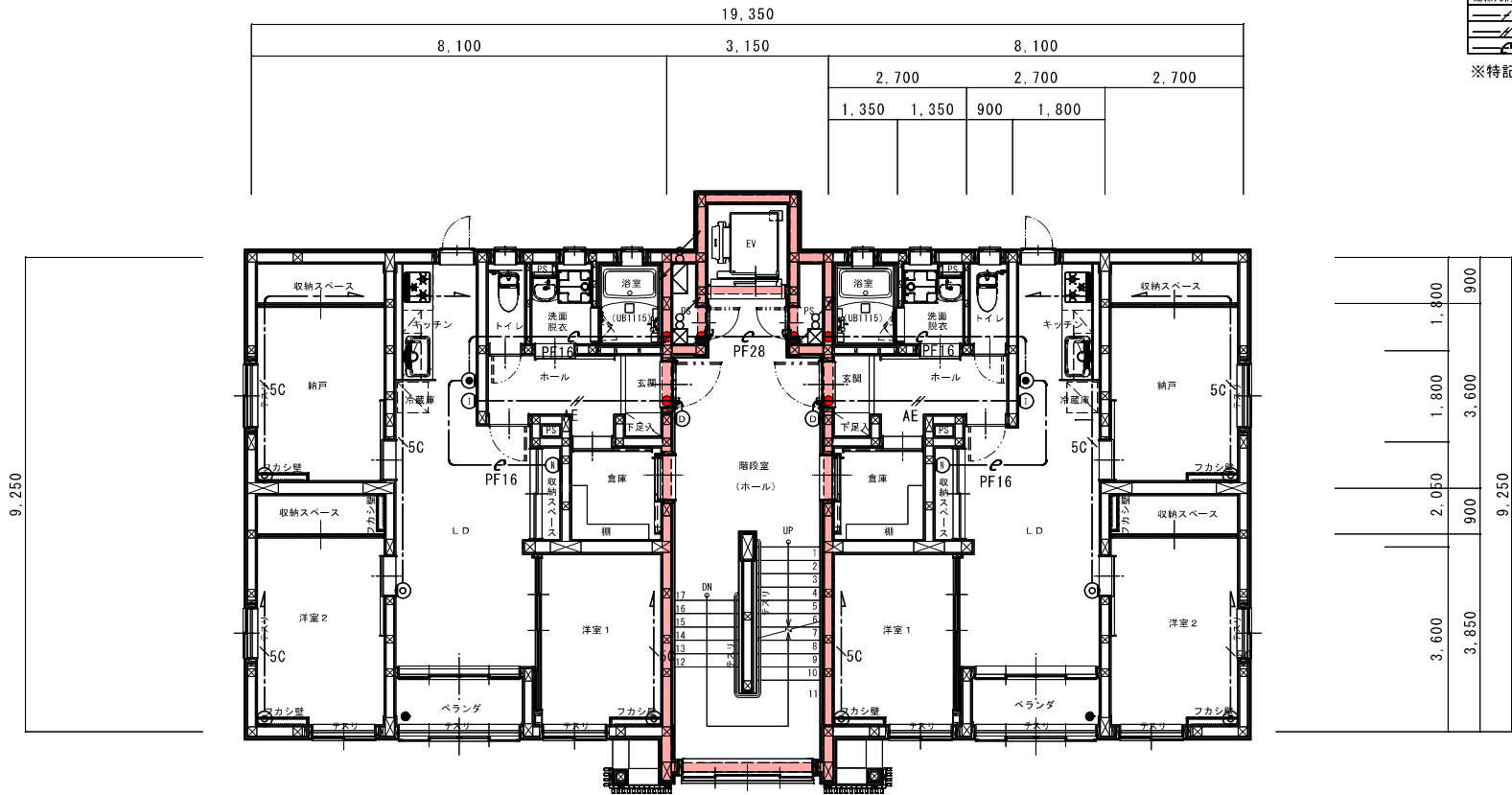
部 位	種 別	固 定 番 号
架	鋼製電線管	PS060WL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

社 名	事業所所在地	作業所所在地	作業所番地	TAKAHASHI ARCHITECTS—INC. 高橋建設事務所	登録建築士一般建築士登録 276463	当 主	製 造 所	設計NO.	名 称	留意NO.
柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤			図尺 A1 5-1.50 A3 5-1.50	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事 図面名 暖電設備1階平面図	E-14

記 号	名 称	備 考
	電話用モジュラージャック	6極2芯
	1/2 12" 配線	
	TV端子	
	TV機器収容箱	
	アンテナボックス	300□×200 (銅板製)
	アンテナ配線機	QH-3KAT相当品
	アンテナ端子機	QH-DK相当品
	防雨入線フ レット	

配線凡例	
	EW-S-5C-FB (天井内こがし) 立下 : 木ステップ &
	EW-AE1.2-2C (天井内こがし) 立下 : 木ステップ &
	空配管には呼び線を入線すること

※特記なき幹線は幹線系統図を参照



弱電設備2・3階平面図 S=1/50

(注記) 防火区画貫通部は、下記の部土交通大断面工法にて施工すること。

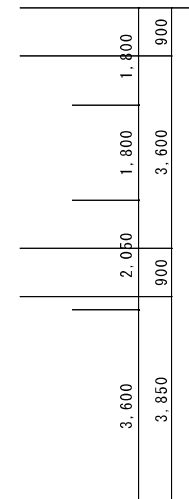
部 位	種 別	認 定 番 号
床	合成樹脂製電線管	PS060FL-0856
	鋼製電線管	不燃材にて加工光線
	建設省告示第177号	

部 位	種 別	認 定 番 号
壁	鋼製電線管	PS060WL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

●印は防火区画貫通処理を示す。

配線凡例	
 5C	EM-S-5C-FB (天井内ころがし) 立下: 本ステップ®
 AE	EM-AE1.2-2C (天井内ころがし) 立下: 本ステップ®
 PF16	空配管には呼び線を入線すること

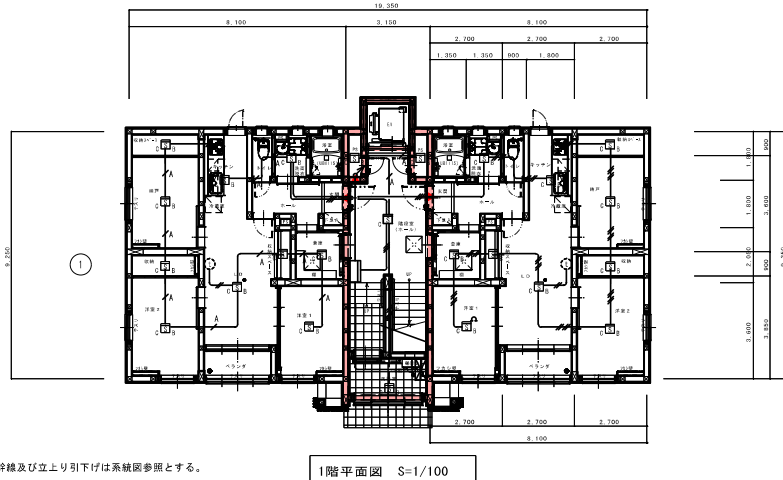
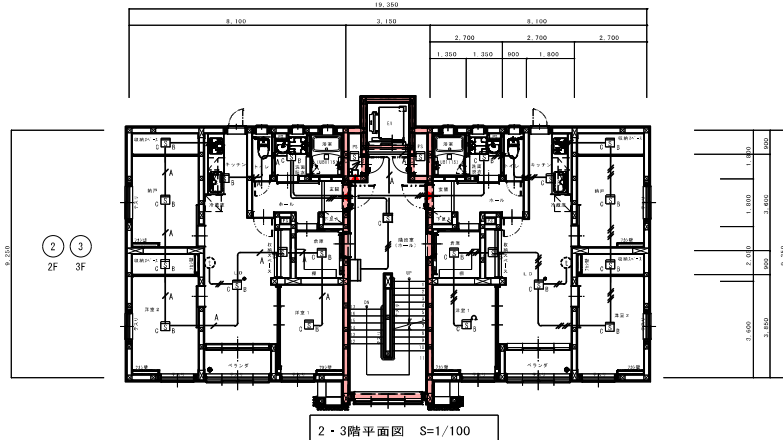
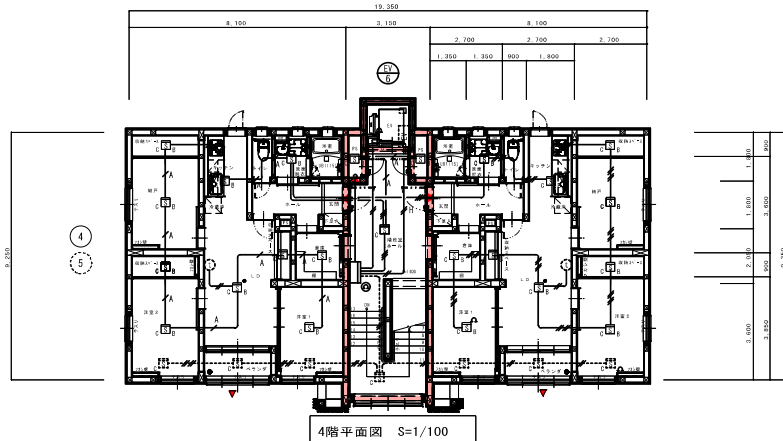
A circle with a shaded sector. A handwritten 'N' is above the circle.



（注記）防火区画貫通部は、下記の国土交通大臣認定工法にて施工すること。

部 位	種 別	認 定 番 号
梁	鋼鉄電線管	PS060WL-0269
	合成樹脂製電線管	PS060WL-1161

柱の位置・寸法及び軸組については、構造図による。	建築年月日	作業年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	常務建築士・一般建築士合計 275480	高上	新橋	橋	設計H.O.	名 称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事	図面H.O.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋 潤				縮尺 A 1 : 5=1/50 B 1 : 5=1/100	図面名 弱電設備4階平面図	E-16



※ 幹線及び立上り引下げは系統図参照とする。

凡例・記号		
記号	名称	備考
☒	受信機	注記参照 自動試験対応型
☐	機器収容箱	●○ 収容 埋込型
●	発信機	P型1級 リング型表示灯付 (AC24V LED方式) アドレス付
○	警報ベル	DC24V 10mA 自動試験対応型
☒	光電式スポット型感知器	2種 露出型 自動試験対応型
☒	光電式スポット型感知器	2種 露出型 天井裏 自動試験対応型
☒	光電式スポット型感知器	2種 点検口付 自動試験対応型
☒	光電式スポット型感知器	2種 3線式ベース使用 自動試験対応型
●	移転リレー	DC24V
△	終端抵抗	10KΩ
Ⓢ	終端器	警報ベル端未用
---	警戒区域境界線	
○	警戒区域番号	
○	警戒区域番号	天井裏
---	制警壁	EV EV工事
⊙	住宅情報壁	インターホン工事
□	鋼製75°ツタ(150角)	
---	配管配線	
---	配管配線	天井裏
---	配管配線	立上り引下げ
▲	防火区画貫通処理箇所	図示なき場合は、他要電線と一緒に処理すること 認定番号はE-03図面と同様とする。

注記	
1. 特記なきは下記とする。(二重天井内ケーブルこがし)	EM-AE0, 9-2C (19) EM-AE0, 9-3C EM-AE0, 9-4C (19) EM-HF1, 2-2C (19) EM-AE0, 9-6C
2. 警報ベルは、一斉鳴動方式とする。	
3. 煙感知器用点検口 (EV昇降路用) の設置において、以下の工事区分はエレベータ工事とする。	
・EV運動停止用スイッチ (スイッチ、取り付け、結線、試験)	
・注意喚起シール (シール、貼り付け)	
4. 受信機は、P型1級10回線・壁掛型とし、仕様は下記によるものとする。	
・表示部 地図表示: 地図式フィルムカラープリントLED方式 地図サイズA3ヨコ相当	
・表示部 地図上のLEDは、建物の形状に合わせ任意の場所に配置可能	
・地図表示部は、2次元タイプと、3次元タイプで選択可能	
・液晶表示: 自動試験機能付感知器のアドレス表示/部屋番号表示	
・防排煙・諸警報のメッセージ表示	
・警報表示: 5回線 (標準装備)	
・主音響 警報音・音声 (発報階、警報回線メッセージ)	
・自動試験機能付	
・音声ガイダンス機能付	
・履歴リスト機能付 (通常履歴10,000件、自動試験履歴13,000件)	
・自動試験感知器接続個数: 最大63個/回線	
・回線内訳	
火災表示	… 6回線
予 備	… 4回線
・移転内訳	
EV制警壁	… 火災代表1回線 (無電圧a接点)
5. 受信機は、収容ボックス防護型内へ収容とすること。	

